2020.3 改訂

# 解説 7万 7解 答 編

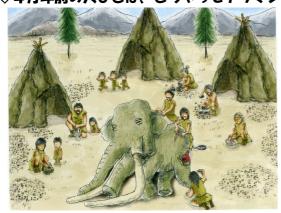


この学習シートは、各時代の説明があり、問題がのっています。 解説を読んで概要を知り、展示をよく見たり、聞いたり、考えたりしながら書きこんでいこう。

そして、昔の人びとのくらしぶりや時代、生き方を想像してみよう!

| 学校 | 年 | 組 |
|----|---|---|
|    |   |   |

## ◇4万年前の人びとは、どうやってナウマンゾウをつかまえたんだろう?



## 〈解答例〉

- ○ナイフや槍のような鋭い石器を使ってナウ \*\*\*
  マンゾウを倒したり、解体したりした。
- ○人びとが力を合わせて集団でナウマンゾウ に立ち向かった。
- ○沼地のような場所にナウマンゾウを追い込 み、動きにくくしておそった。

## ◇つかまえたナウマンゾウを、どのように調理して食べたんだろう?

生で食べる。焼いて食べる。蒸して食べる。けむりでいぶしたり干したりして食べる。

# 



## 〈解答例〉

鳥肉(キジ、フクロウ)

動物肉 (ウサギ、イタチ、タヌキ、イノシシ、シカ) 魚肉 (イワナ、サケ)

木の実(ドングリ、トチの実、クリ、クルミ) その他 (アケビの実、きのこ、やまぶどう、ヘビ) ※上記の動植物等は、竪穴住居内や 縄文のムラにあります。

◇米づくりには、不製の農具が使われた。 発掘で見つかった木製の道具を展示物の中か ら一つ選んで絵にかこう。



〈解答例略〉

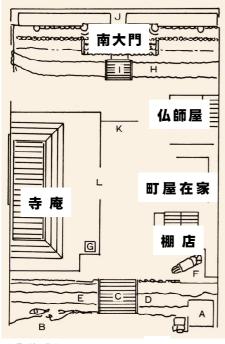
木製の鍬、鋤、えぶり、杵、田下駄などから、一つ描けていればよい。

◆1.500年前の古墳時代。シナノに朝鮮半島の人びとが渡ってきた。ビデオボタンを押してシナノと朝鮮半島で似ているものをメモしよう。

## 〈解答例〉

- ○ベルトの帯金質(獅子の顔、 点と線の模様が似ている。)
- 記 の飾り (鳥の形が似ている。)
- ○硬い土器 (須恵器と陶質土器)
- ○積石塚古墳(朝鮮半島にも似 た形の古墳がたくさんある。)
- ○朝鮮半島とシナノの気候や景色が似ている。

## ◇それぞれの建物を観察して役割を整理し、自分なりの発見をまとめてみよう。



◇[説明]にあてはまる

ものを

(1~5)の中から選ぼう。

- ①お坊さんの住まい
- ②特産物が売られている定期市
- ③仏像を造る作業場
- ④日常品を売っているお店
- 5仁王像が待ちかまえている

### ★そのほかの説明

A:絵巻物をもとにした善光寺の ®<げんもけい 復原模型。

**B:板碑・卒塔婆** 亡くなった人を とむらう塔。

C • D: 裾花川と木の橋。

E:うかびあがる地獄絵図。

F:馬 武士はここで馬をおりる。

G:五輪塔 石を五段に重ねた墓。

H・I:鐘鋳川と木の橋。

J:ご本尊。

**K:「二十五来迎図」** 阿弥陀さまが亡くなった人をおむかえに来ている。

**L:勧請つり** しめ縄でつるして、 門内にわざわいが入らないよう にするおまもり。 記号 名前 説明(①~⑤から選ぶ) 気づいたことなど

## 南大門(二つの像の違い)

説明

(5)

〈解答例〉体のポーズが違う。口元が違う (一方は口を開けていて、他方は口を閉じ ている)。

#### 

説明

(1)

〈解答例〉大きさ。つくり(しっかりした家になっている、人が横になれる)。屋根。壁。柴垣で囲われている。

# 仏師屋 (道具を見ての発見)

説明

(3)

〈解答例〉何種類もの道具がある。彫刻刀 みたいな道具がある。現在ののこぎりと形 がちょっと違う。

## 町屋在家 (売っているもの)

説明

(2)

〈解答例〉米俵、米袋、鮭(切り身にする 道具もある)、麻布、からむし(植物の白 い束)など。

# 棚店 (売っているもの)

説明

《解答例》草鞋、足半、クリとクルミ、串柿、

④ または干し柿、品物を運ぶ木箱など。

# ◇このコーナーで感じたこと(雰囲気や気づいたこと)を記録しよう。

## 〈解答略〉

○補足…本展示は、秋の夕暮れを想定している。昼と夜の境の時間は大禍時といわれ、恐ろしい時間と考えられていた。人びとは、病気や死が日常生活と隣りあわせている中、如来にすがり、災難から逃れ、極楽往生を願う気持ちが強かった。寺の門前はそうした宗教的空間であり、その復原展示に触れることによって児童生徒が自分なりに感じたことを言葉にできるとよい。

### ◇農家の生活を体験してみよう

①「肥桶」をかつぐ

|      | ` | - 1 | 1.1 | - |
|------|---|-----|-----|---|
|      | 1 | 7   | м   | = |
| 7.52 | v | 7   | ĸ   | ∹ |
|      |   |     |     |   |

②「蓑・笠・わらぐつ」を身につける

| - 12 | . 1 |    |
|------|-----|----|
|      | 7   | 70 |
|      |     |    |

③「土座」にあがる

(「ねこ」や「囲炉裏」端にすわる。「すべ布団」で寝る。「麻衣装」を着る。など)

| 成木  | 目 |
|-----|---|
| 思久法 | 尺 |

# ◇江戸時代の農家(この農家)と現代の家(自分の家)を比べてみよう。どこが、どのように違うかな? 〈例〉

| 江戸時代の農家(この家)                       | どこが  | 現代の家(自分の家)                              |
|------------------------------------|------|---|
| 暗い。障子の窓や戸しかない。                     | 明るさ  | 明るい。窓ガラスがあるから。                          |
| かやぶき。天井がなく中から見える。                  | 屋根   | かわら、トタン、ソーラーパネルあり                       |
| 土。板のところもある。                        | かべ   | 土ではない、板、コンクリート、壁紙                       |
| 外にある。丸見え。ためてある。                    | トイレ  | 家の中、水洗、きれい、下水道へ                         |
| 馬、ねずみ、へび                           | 家の動物 | ペット (犬、猫、小鳥、金魚…)                        |
| 土間がある。機織りをしていた。<br>居間にいろり・ねこ、すべぶとん | そのほか | 二階がある。車庫がある。部屋が多い。<br>電気製品がある。台所が広い。水道。 |

## 農民のくらしの変化

江戸時代前期の農民は、自給自足を中心とする生活をしていました。しかし、だんだん と農業技術が進んで収穫が増え、商品作物(売ってお金にする作物)の栽培や、さまざま な「かせぎ」が発達しました。

稲作では、米の新品種を導入したり、堰をひいて田を増やしたりしました。畑作では、古くから大麦・小麦・大豆・ゴボウなどがありましたが、新しくナス・ウリ・ネギ・ジャガイモ・キュウリなどの栽培が広がりました。また、木綿(衣料用)や菜種(灯火用、食用)、藍(染色用)などの栽培も広がりました。養蚕や地場産業も発達し、商品は「中馬」とよばれる仕組みなどによって、馬や牛で各地に運ばれました。

麻から木綿へ、一日2食から3食へなど、衣食住が向上し、旅 (寺社参りや物見遊山) や村祭りを楽しむことも始まりました。読み・書き・算盤を教える寺子屋が増えました。

## ◇本物の繭をさわったり、におりをかりだりして観察してみよう。



◇お蚕 さまクイズ 一つの繭からおよそ何メートルの糸が とれるでしょうか?

約(1,000)m

◇糸をとる工場で働いていた女の人たちの 「食事」や「服装」の様子をメモしよう。



〈食事〉

ご飯、みそ汁、焼き魚、煮物、漬け物 〈服装〉

着物のような服(はかま)

## ◇今の私たちの教室と比べて、同じところや違うところを探してみよう。



## 同じところ

- こども用の机がある。
- 時計がある。
- ・教室の床が板ばりになっている。など

## 違っているところ

- ・黒板の色が緑色でなく黒色。木製。
- ・こども用の机が全部、木でできている。机の引き出しが上方向に開く。
- 教室に蓄音機がある。

など。

#### ◇昭和のころの子どもたちの遊び道具を使って遊んでみよう。



お手玉 水でっぽう めんこ コリントゲーム

(展示していないものもあります)

みんなで、ゆずり合って遊ぼう!

感想